

## 月例研究発表要目

- 第 87 回 昭和 54 年 1 月 31 日 宮野悦義氏「ワイマールの Ferienkurs」  
第 88 回 昭和 54 年 6 月 6 日 Beverly I. Nelson 氏「現代の韓国文学について」  
第 89 回 昭和 54 年 6 月 20 日 木山英雄氏「去年の紹興など」  
第 90 回 昭和 54 年 10 月 31 日 坂内徳明氏「ロシア民話における“笑わぬ王女”」  
第 91 回 昭和 54 年 11 月 21 日 広田昌義氏「想像力・歴史・表徴——バスカル“パンセ”について」  
第 92 回 昭和 54 年 12 月 19 日 溝口雄三氏「公とおおやけについて」

## 新学部問題懇和会

- 第 1 回 昭和 54 年 3 月 17 日 山本和平氏「国際理解の諸問題について」  
第 2 回 昭和 54 年 4 月 28 日 青木利夫氏「ヨーロッパで考えたこと」

## 編集後記

《「語学研究室」はこの一年間、本来の任務である研究活動と並行して、いくつかの問題について密度の高い論議を重ねてきた。率直にいうと、本学における「語学研究室」の位置、したがってまたそのメンバーの位置はまだまだ不安定である。「語学研究室」における論議はまさにこの点に触発されたものであった。しかしその論議は終始、「語学研究室」のエゴイズムを脱した次元でおこなわれ、その中心問題は「語学研究室」が本学の本来在るべき体制のなかでいかなる位置を占めるべきかであった》。この文章が読まれるのは実に 14 年前、1965 年 11 月 3 日に発行された「言語文化」第 2 号の編集後記においてである。それ以来、事態は変化したのであろうか、あるいは依然として同じ地点にとどまっておりますともどもりつづけるのだろうか。

次手に本誌創刊号(1964 年)の編集後記も覗いておこう。《本学における「語学研究室」創設の目的は、社会科学の総合をめざす学園にあって諸学の研究と密接な関連を保ちつつ言語文化一般および現代的観点に立った広義のフィロロギーの確立と、併せて語学教育の一層の改善とに寄与することにある》。語学研究室もひとつの組織であろう。とすれば、時折はその組織がつくられたそもその目的を思い出すことも必要ではないか。語研創設の際の初心がよもや忘れ去られてはいまいと信じたい。

本年は語研メンバーとして、新たに溝口雄三氏、坂内徳明氏をお迎えした。

\*

毎号のことであるが、編集の実務面は、志村俊司氏に全面的におまかせした。  
感謝にたえない。

(広田記)

---

言語文化 第 16 号

1979 年 12 月 20 日発行©

編集 一橋大学語学研究室  
発行人

発行所 一橋大学語学研究室

東京都国立市中 2 の 1

---

# GENGO BUNKA

—Cultura Philologica—

XVI

1979

---

## CONTENTS

### Articles

- Some Notes on *Zhedong* (浙東) "Duomin (墮民)"  
..... Hideo Kiyama 3
- Street Cries in Russia—On Witty Sayings of Show-booth  
*Balagan* ..... Tokuaki Bannai 24
- So-called "Examination on *Genesis*" ... Yasumitsu Takahashi 45

### Notes

- Supplementary Article to *Aspects of Keats's Art* (1), (2)  
..... Wataru Kikuchi 75
- On Malebranche's Treatise of Passions—Their Cubic Structure  
..... Shigehisa Hagihara 82

### Reviews

- Pierre Seghers: *La Résistance et ses poètes* ..... Reiko Ando 89
- Brigid Brophy: *Beardsley and his world* ... Joichiro Kawamura 91
- Jean Bellemin-Noël: *Vers l'inconscient du texte*  
..... Hiroshi Kume 94
- Ruth Finnegan: *Oral Poetry: Its Nature, Significance and  
Social Context* ..... Masato Sakurai 97
- Nagakawa Reiji: *Politics of Language* ..... Yasuhiro Deguchi 99

THE HITOTSUBASHI LANGUAGE INSTITUTE  
HITOTSUBASHI UNIVERSITY  
KUNITACHI, TOKYO  
JAPAN